

子どもアンケートの分析と園としての考え

質問1 「先生や友達と遊ぶことは楽しいですか」

「はい」50名 「いいえ」1名(年少児)

年少児ということもあり、保護者と一緒にいたいという気持ちもあってのことと思います。

引き続き全園児が楽しく遊ぶことができるよう、一人ひとりの幼児を大切に、教育環境を工夫して楽しい保育を展開していきます。

質問2 「困ったときに先生に話していますか」

「はい」46名 「いいえ」5名(年少児3名 年中児2名)

年少児にとっては発達上、「困っていること」の概念の理解が難しかったかもしれません。また、「困っていることがない」幼児もいたようです。「いいえ」の幼児が、先生に言えず、気付いてもらえず、困っていることはないようです。

子どもたちが安心・安全に園生活を過ごすことができるように、一人ひとりの幼児の内面を読み取り、どの幼児も自分の思いを先生や友達に伝えることができるように、個に応じた援助をしていきます。

質問3 「したことをお家の人に話していますか」

「はい」45名 「いいえ」が6名(年少児1名、年中児2名、年長児3名)

どの学年にも若干名見られましたが、年少児は発達の特性上、経験したことを話すことがまだうまくできない場合もあるかと思われます。「いいえ」と答えた幼児も親子での会話は楽しんでいます。

保護者の方には、お子さんが話したいときにゆっくりと話を聞いて親子の対話を楽しんでいただければと思います。お子さんのウェルビーイングにつながり、お子さんの「聴いてもらってうれしい」「伝えたい」という気持ちが高まります。

質問4 「好きな遊びは何ですか」

- ・自由記述のため、学年が上がるほど回答した遊びの種類が多くなっています。遊びの種類が豊富になることや体験したことを記憶・想起して伝える言語能力等の育ちも影響していると思います。
- ・どの学年も室内の遊び・屋外の遊び、一斉活動などの遊びが記述されており、全学年で豊かな遊びが展開され、子どもたちが遊びを楽しんでいることが分かります。
- ・砂遊びや虫探しなど、本園の自然に恵まれた園庭環境での遊びを楽しんでいることが分かりました。今後も園庭の自然環境を生かした体験を充実させていきます。
- ・ごっこ遊び、運動遊び、製作、描画などが上位となりました。これらの遊びは創造性や感性、人との関わり、健康な心と体などにつながる遊びと言えます。総合的に子どもたちの資質・能力を育んでいきます。

※子どもへのアンケートの聞き取りについては、評価の説明の際に、お子さんも保護者の方も落ち着いた状態の時に実施するようお願いしました。保護者は大変協力的で、特別なご事情があるご家庭以外の方はご提出いただきました。

特に質問4に関しては丁寧に聞き取っていただきました。

保護者の方がお子さんに質問をすることによって、親子の対話となり、お子さんの気持ちや楽しんでいることなどを感じる機会になったのではないのでしょうか。

保護者の皆様には大変感謝しております。

※今後も幼児期に遊びを通して幼児一人ひとりの資質・能力を育てていくために、研究や研修に励み、幼児の体験・学びの質を高めるための教育環境・教材・教師の援助等の工夫・改善を行い、全教職員一丸となって、幼児にとっても保護者の方にとっても、安心できる楽しい幼稚園、子どもが育つ幼稚園にしていきます。